令和8年度
明和営農センターだより 9月

平素は、農協事業に格別なるご理解、ご協力を賜り厚く御礼申し上げます。
令和８年産水稲につきましては、お盆前より刈り取りがスタートしました。
現在、明和地区では約１６，０００袋の出荷をいただいています。（９月１日現在）
米の等級につきましては、高温の影響で乳白粒が目立ち、２等３等が多くなっています。
（９月１日時点 で１等米比率約３．６％）
また、秋冬野菜の定植も開始されています。初期生育が非常に重要となりますので、害虫対策等に注意いただき、管理をお願い致します。

お米のJA出荷にご協力下さい！

お知らせ

☆令和8年産米の集荷について☆

1袋でも多くJAに出荷いただきますよう、宜しくお願い致します。
※9月30日までの検査分以降、1俵あたり5，000円安となりますので、余り米がある方は、早めの出荷をお願いします。

☆住宅等の修繕やリフォームをお考えの皆さまへ☆

JAでは、住宅関係の修繕・リフォームも実施しておりますので、何かございましたらお気軽にお声かけいただきますよう、宜しくお願い致します。

☆床下無料点検実施中☆

暑い時期は、白蟻の繁殖時期となっています。羽アリを見かけましたら危険信号となります。
JAでは、**無料で床下調査を実施**しておりますので、お気軽にご相談下さい。

☆店舗休業のお知らせ

9月30日(水)は第二四半期の棚卸のため、終日休業とさせていただきます。
なお、青果物集荷は通常通り行いますので、よろしくお願いします。

〇明和営農センター平日の営業時間について
９月末まで　→　８時４５分～１８時まで
１０月より　→　８時４５分～１７時まで
※お間違えのないようによろしくお願い致します。

☆休日(土日祝)の営業時間について☆
9月13日(日)まで8時45分～12時まで
9月13日以降～3月下旬　→　☆営業日　月曜日～金曜日(平日のみ)
☆営業時間　8時45分～17時
土曜・日曜・祝日は休業となります。

裏面には、営農指導員だよりを掲載しておりますので、ご覧下さい。

営農指導員たより 9月

稲刈りも概ね終了し農繁期も一段落してきた頃かと思います。今月は秋冬野菜の定植時期となります。下記を参考に準備をお願いします。

水稲

本年度も昨年と同様、高温干ばつの影響から、高温障害である白未熟米の発生が多く、検査等級の格下げ理由として９割程度を占める状態となっています。今後は、次年度に向け稲刈り終了後、遅くとも 10 月末までには秋起こしを実施するようにしましょう。

秋冬野菜

秋冬野菜は、定植が１日遅れると収穫は１週間遅れると言われています。適期定植を心がけてください。品目によりますが、播種後２０日～３０日程度が育苗期間になります。定植後は土壌が乾いているようであれば少なくとも３日間～７日間はしっかりと潅水し苗の活着を促します。潅水のムラがそのまま生育のムラになるので潅水ムラのないように丁寧に行います。また、定植日の前日又は当日に液肥を入れておくと苗の動きも良くなり、おススメです。

☆おすすめ液肥・・・サンプロ１号　４００倍にて葉面散布

害虫発生状況　ヨトウムシ類

本年のヨトウムシ類の発生はやや多いと予想されています。幼虫は老齢になるにしたがって薬剤の効果が低下します。早期発見に努め、若齢のうちに防除してください。また、薬剤抵抗性の発達を回避する為、同一系統の薬剤連用を避けるよう気を付けてください。

台風対策(露地野菜編)

これからの時期は台風が襲来しやすくなります。事前に下記の対策をしておくと被害を軽減できますので、参考にしてください。

- 冠水や浸水の恐れがある圃場は、排水溝の雑草や土砂等を取除き水落部分を作っておく。
- 播種直後のものやキャベツ等の苗床は、寒冷紗をべたがけして風で飛ばないよう固定する。
- 幼苗期のものは、土寄せ・土入れを行い株の揺れを防ぐ。
- 果菜類は、支柱の補強を行い収穫が済んだ側枝や不要な枝や蔓を取除く。または、畝の上に倒し防風網や寒冷紗等で押さえ台風通過後に元に戻す。

☆ 台風通過後は、速やかに圃場排水を行い、ベタがけ資材等を除去し付着した泥等は洗い流し薬剤防除をする。

肥料・農薬など栽培に関するお問い合わせは

明和営農センター　５２－３０４７　まで　担当の営農指導員が対応致します。